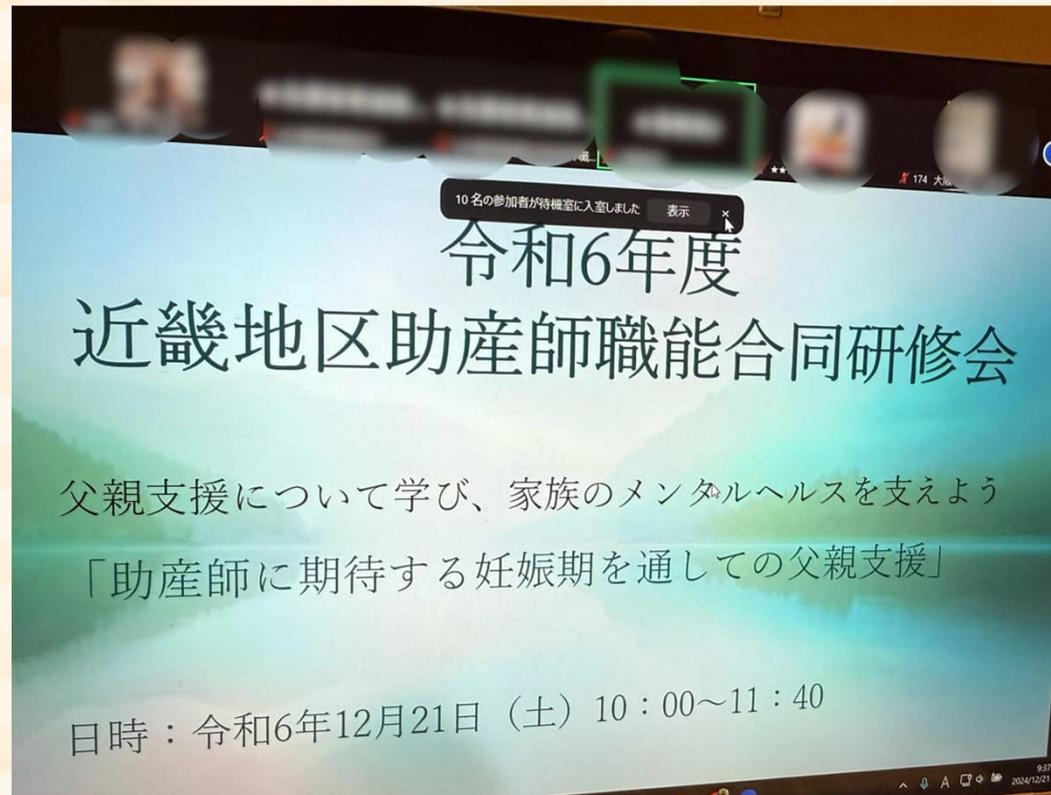


パパの子育て応援セミナー

兵庫県看護協会 助産師職能委員会 合同研修 開催レポート



日時

2024.12.21（土）10：00-11：40

会場

オンライン

参加者

近畿地区の助産師 186名

場 所 オンライン
日 時 2024年12月21日(日)10:00-11:40
参加者 助産師
講 師 阿川 勇太

内 容

- ・産前産後の父親支援が必要な背景
- ・父親のニーズ調査の結果から考える産前産後の父親支援
- ・産前産後における父親支援の再考と新たな試み

助産師を中心に186名の参加者でした。多くの方々が感想で書かれていましたが、「産前、産後における父親支援の視点がすっぽりと抜けている」ということでした。

(以下、参加者の声より)

「父親のメンタルフォローの必要性を強く感じたのでこれから声掛けをしていくようフォローしたい」

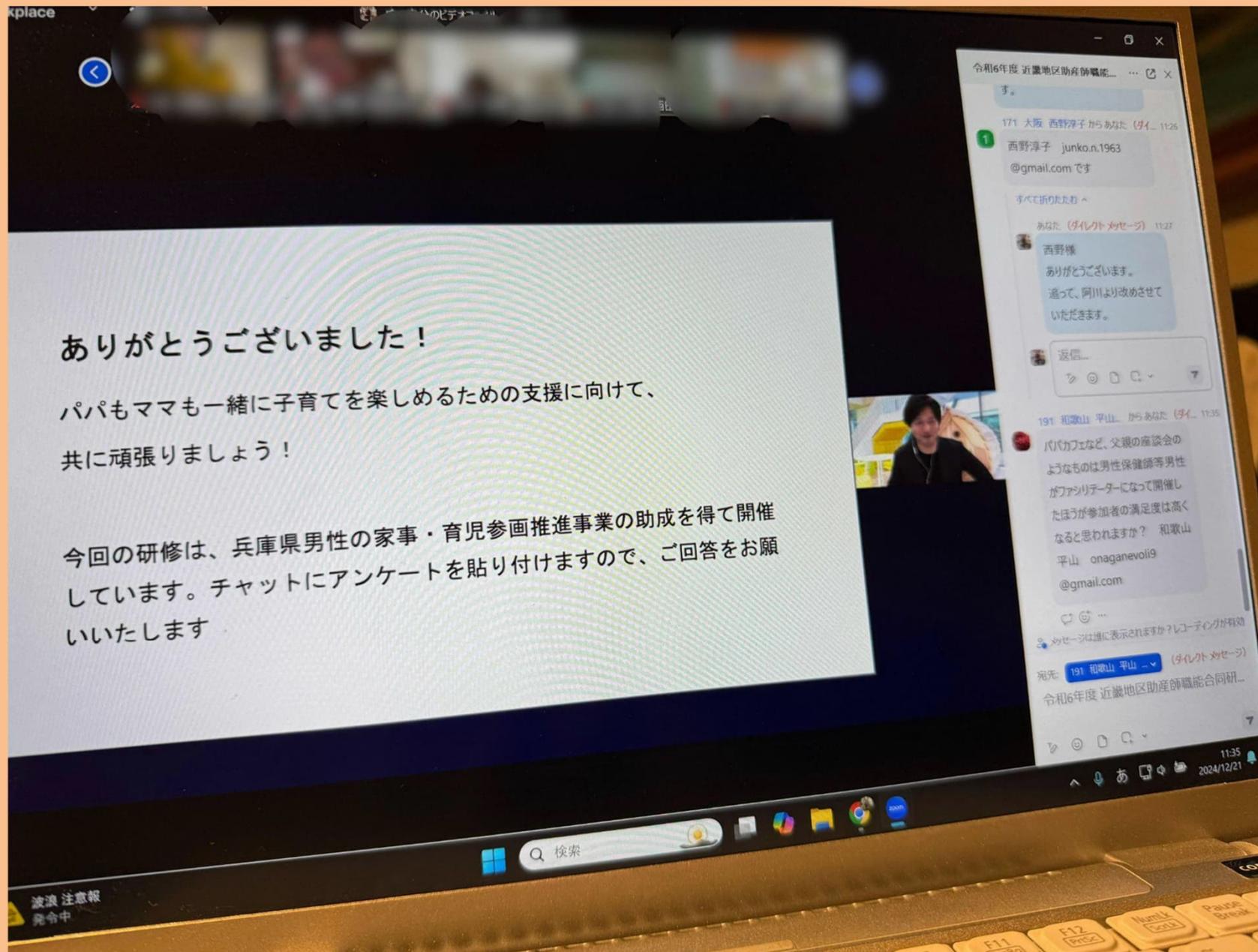
「母親目線で父親にも頑張ってもらいたいと考えていましたが、今日のセミナーを受けて、父親にも労いや承認の言葉をかけて支援することが必要だと感じました。実践していきます」

「子育ては母親がメインという考えを自分も取り払って、ケアを行う必要があると感じました」

産前産後における父親支援の再考と 新たな試みについて。

The image shows a Zoom meeting interface. The main window displays a presentation slide with the title "産前産後における父親支援の再考と新たな試み" (Reconsideration and New Attempts on Father's Support Before and After Birth). The slide has a light blue and white background with a faint mountain silhouette. The Zoom control bar at the bottom shows the video is muted, audio is on, and there are 186 participants. A chat window on the right side of the screen is open, showing a message from a user named "あなた" (You) at 10:59. The message text is: "ご質問がある方は、チャット欄にて、桜井一字 (FJK)宛のダイレクトメッセージでお問い合わせください。その時に、ご連絡先 (メールアドレス) 合わせてご記入をお願いします。後日、阿川より改めて連絡をさせていただきます。" (If you have any questions, please contact us via direct message to Sakurai Ichiji (FJK) in the chat. At that time, please include your contact information (email address) together. We will contact you again later from Akashi.) The chat window also shows a "変更しました" (Changed) notification and a "メッセージは誰にも表示されず録音のログが取得" (Messages are not shown to anyone and recording logs are obtained) warning. The system tray at the bottom of the screen shows the date and time as 11:10 on 2024/12/21, and the weather as 10°C with a cloudy sky.

ママだけでなく、パパへの支援の必要を強く感じたという声、感想をたくさんいただきました。



アンケート結果について（一部抜粋）【回答者149名】

①年齢を教えてください

20代：16名 30代：21名 40代：43名

50代：52名 60代：16名

②性別を教えてください

男性：0名 女性：149名

③状況を教えてください

子育て中：43名

④セミナーの内容はいかがでしたか

とても参考になった：101名 参考になった：44名

⑤参加者の声

「パパへの声掛けは大いに参考になった。」

「パパ視点をしっかりと取り入れた取り組みの必要を強く感じた」

「まずは父親へのねぎらいの言葉掛けと、思いを傾聴したい」